

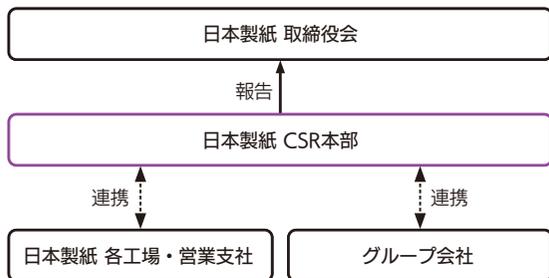
# 地域・社会との共生

## 1 基本的な方針

日本製紙グループは、社会の一員として社会全体の発展に貢献したいと考えています。必要とされる製品の供給を続けるとともに、地球環境の保護、文化や地域社会の発展にも役立つための活動を積み重ねていくことが、社会から信頼を得て、地域と共生しながら事業活動を続けていくことにつながります。

 [→P86](#) 社会貢献活動の理念と基本方針

## 2 推進体制



- 当社グループでは、グループの専門性や資源を活用しながら、それぞれの地域との共生を深める活動を継続して実施しています。
- 2022年度は生物多様性保全活動について経営執行会議 [→P03](#) に報告しました。

## 3 主な地域・社会との共生活動、社会貢献活動

### 主な地域・社会との共生活動、社会貢献活動一覧

活動区分	活動内容
<b>地域・社会に関する活動</b>	
地域の美化・安全・防災・災害時支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所周辺等の清掃活動</li> <li>● 小学校等への花苗寄贈</li> <li>● 子ども110番パトロール事業への協力</li> <li>● 交通安全の意識喚起</li> <li>● 振り込め詐欺防止への協力</li> <li>● 植林地域における消防団への参加*</li> <li>● 自然災害時の義援金の抛出、被災者用仮設住宅用地の貸与、救援物資の提供</li> </ul>
地域文化の保全・先住民族への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先住民族遺跡の保護*</li> <li>● 先住民族の遺跡がある土地を恒久的な保護区に指定*</li> <li>● 地域行事への参加・協賛</li> </ul>
福祉活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ピンクリボン運動を支援するコピー用紙の販売</li> <li>● 植林地周辺の農家への樹皮・バイオマス残渣を利用した堆肥の配布*</li> <li>● 高齢者ケア施設への資金援助</li> <li>● 社会福祉団体のイベントへの参加・協賛</li> <li>● 乳がんネットワークへの支援*</li> <li>● 所有する福利厚生施設(体育館など)の一般(地域住民・各種団体・個人等)への開放</li> </ul>
意識啓発の機会提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サステナビリティ講演会の開催 <a href="#">→P02</a></li> </ul>
科学技術の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (公財) 藤原科学財団への支援</li> </ul>
<b>環境に関する活動</b>	
社有林の活用・生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「シラネアオイを守る会」の活動支援 <a href="#">→P45</a></li> <li>● シマフクロウの生息地保全と事業の両立 <a href="#">→P45</a></li> <li>● 人工巣箱設置によるシマフクロウの繁殖条件改善</li> <li>● 西表島での外来植物の駆除活動 <a href="#">→P45</a></li> </ul>
リサイクル活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紙コップ回収リサイクル <a href="#">→P39</a></li> <li>● 紙バック回収リサイクル <a href="#">→P39</a></li> <li>● 地域の廃棄物の有効利用 <a href="#">→P41</a></li> </ul>
地域への責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境コミュニケーションの実施 <a href="#">→P25</a></li> <li>● 地域の水資源保護・改善を目指すプログラムへの参画* <a href="#">→P41</a></li> </ul>
<b>教育に関する活動</b>	
ワークショップ・出張授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「森と紙のなかよし学校」の開催</li> <li>● 出張授業、学校授業への協力</li> </ul>
社会見学の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場見学の受け入れ</li> </ul>
就業支援・教育現場への製品提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターンシップの受け入れ</li> <li>● 植林地周辺コミュニティの住民を対象とした職業訓練の実施*</li> <li>● 教育機関への自社製品提供</li> </ul>
音楽・スポーツを通じた教育機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽コンクール・スポーツイベントへの協賛</li> <li>● 低所得層の子どもたちを対象にしたスポーツ教室の支援*</li> </ul>

\* 海外での活動

## 地域・社会との共生

## 事例

## ① 地域・社会に関する活動

先住民族の遺跡がある土地を恒久的な保護区に指定  
(ブラジル AMCEL社)

AMCEL社所有地内約1.6万ヘクタールにおいて、2013年8月から2014年1月に遺跡発掘調査を実施した結果、21の考古学的遺物が発見、収集されました。AMCEL社では、該当する全区域を恒久的な保護区域とし、行政・研究機関と連携して遺跡の保全に努めています。また、タウタウガウジーニョ市内の学校で遺産教育講演会を開催するなどの教育活動も行っています。

植林地周辺の農家への樹皮・バイオマス残渣を利用した堆肥の配布  
(ブラジル AMCEL社)

AMCEL社は、植林・林業活動の中で発生した樹皮などのバイオマス残渣からできた堆肥を、植林地周辺に住む地元農家へ無償で配布しています。この活動は地域社会の農業振興につながり、各農家からも作物の有機栽培につながると好意的な評価を得ています。また未利用であったバイオマス残渣の有効利用にもつながっています。

## 社会福祉団体主催のイベントへの参加・協賛

当社や日本紙通商などでは、社内で回収したペットボトル飲料のキャップを社内で収集し、NPO法人等に寄付しています。寄付したキャップは売却された後、収益がワクチンに換えられ、世界の子どもたちに提供されています。また、国内のグループ会社の多くの拠点にて日本赤十字社の献血に協力しています。当社東松山事業所では長年にわたるその協力に対し、感謝状が贈られました。

## ② 教育に関する活動

## 「森と紙のなかよし学校」の開催(日本製紙)

「森と紙のなかよし学校」は日本製紙の社有林を活用した、独自の自然環境教室です。一般の親子を対象に、豊かな自然に触れ、森と、生活に不可欠な紙とのつながりを体験する機会の提供を目的として、2006年10月に群馬県の菅沼社有林(丸沼高原)で開始し、従業員の知識と経験を活かして企画・運営しています。2022年度には場所を選ばず参加できる「森と紙のなかよし学校オンライン」を開校し、参加した35人の小学生とその保護者に対し、森の役割や紙の環境特性に関する授業と、社有林の葉を用いたワークショップを実施しました。参加者からは「地球にやさしい生活をしようと思った」、「森や紙についてもっと知りたいと思った」などの感想が寄せられました。

植林地周辺コミュニティの住民を対象とした職業訓練の実施  
(ブラジル AMCEL社)

AMCEL社は、植林地をはじめとする広大な土地を保有しており、地域に住む人々との協調、対話の深化に努めています。その一環として、地域の人々から就業のために学びたいことを聞き取り、それらに沿ったテーマで講習会を継続的に開いています。近年は養蜂の技術者を招き、技術指導と養蜂のための資材提供を行うことで、地域の人々の経済的自立をサポートしています。

低所得層の子どもたちを対象にしたスポーツ教室を支援  
(ブラジル AMCEL社)

AMCEL社は、地域の子どもたちを対象としたスポーツ教室に対する支援を行っています。この活動はアマパ州軍警察および軍警察環境部隊によって行われ、スポーツ教室を通じて低所得地域の子どもたちの健全な育成を促し、薬物乱用や犯罪に巻き込まれないようにすることを目指しています。AMCEL社は参加者が着用するユニフォーム等を提供し、この取り組みに対する支援を続けています。

## 社会貢献活動費(日本製紙)

	2020年度	2021年度	2022年度
社会貢献活動費(寄付金額) (百万円)	75	58	49

## 4 従業員の社会貢献活動支援

当社では、従業員の自主的なボランティア活動への参加を以下の制度で支援しています。

- ボランティア休職制度(青年海外協力隊など)
- ボランティア活動目的での休暇取得制度(失効積立年休(保存休暇)の利用)